

GTEC

Global Test of English Communication

**【大学入試英語成績提供システム】
CEFRとの対応関係**

GTEC

CEFRとの対応関係

テストは、Council of Europeが公表している手法に基づきCEFR（Common European Framework of Reference for Languages）（ヨーロッパ言語共通参照枠）との対応関係を検証しています。

その検証において、「読むこと」「聞くこと」「書くこと」「話すこと」の各CEFRレベルにおける閾値スコアを判定しているため、技能ごとにCEFRレベルとの対応関係を確認することが可能です。また、スコア型の検定として各技能の閾値スコアを加算し、4技能総合の閾値スコアも示しています。

CEFR レベル	Advanced, Basic, Core, CBT*1				
	読む	聞く	書く	話す	総合
C1*2	330	340	340	340	1350
B2	280	290	300	320	1190
B1	220	220	240	280	960
A2	150	160	190	190	690
A1	60	70	60	80	270

<各タイプのスコア>

- CBT : 各技能 0~350点, 4技能合計 0~1400点
- Advanced : 各技能 0~320点, 4技能合計 0~1280点
- Basic : 各技能 0~270点, 4技能合計 0~1080点
- Core : 各技能 0~210点, 4技能合計 0~840点

*1 *2 C1のCEFR閾値は、GTEC（Advanced/Basic/Core）とGTEC CBTのスコアを統合するための調査分析（2018年2月実施）の結果に基づいて設定された。

CEFR対応の検証方法

Council of Europeが公表しているCEFRマニュアル (A Manual: Relating Language Examinations to the Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment) の第6章のStandard Setting Proceduresに基づいた手順で検証を行いました。受容技能の「聞くこと」「読むこと」では, Bookmark Method (Council of Europe 2009)を用いて検証し, 一方, 発表技能の「話すこと」「書くこと」ではContrasting-Group Method (Council of Europe 2009)を用い, 技能ごとの検証を行いました。

「読むこと」「聞くこと」Bookmark Method

GTECはIRTでスコアを算出しており, テスト項目ごとに困難度の数値が貼りついているため, それを客観的根拠として用い, それに加えてパネルの知見を加えた分析を入れることで, より適正に閾値設定ができると判断しました。

「書くこと」「話すこと」Contrasting-Group Method

Contrasting-Group Methodは, 受検者の解答パフォーマンスを能力値の順に並べて閾値を決定する方法です。マニュアルに記載されている手法に加え, リスニングとリーディング同様に, GTECがIRTを用いてスコア算出している特徴を生かして, IRTのデータをもとにして分析を行いました。IRTデータに加えて, 実際の受検者の解答パフォーマンスを詳細に分析することにより, より現実に即した閾値設定ができると判断しました。

◆調査時期

A2レベル以上は, 2017年1月, A1レベルは, 2017年12月に調査を実施。

◆使用データ

PBT, CBTともに, 分析時最新の本番データを使用しました。

- ・ PBT 2016年6月検定, または2017年6月の問題セット
- ・ CBT 2016年7月検定の問題セット

◆パネル

CEFRおよび英語の言語教育, 教育測定に精通した研究者6名です。(ただし, 2017年12月のA1レベル設定の際は, このうち2名の研究者が参画いたしました。全員CEFRに精通したメンバーです。また, GTECの作問・制作に関わっているメンバーや第二言語習得の専門家が参画し, 問題形式, 採点基準等の質問に答えたり, 機器操作, 資料の準備や議事録とりなどを行いました。

CEFR対応関係検証に関する研究成果の公表

GTECスコアとCEFRレベルの対応関係に関する検証方法・研究成果については下記の学会, または媒体で発表・公表を終えております。(一部, 発表予定についても記載しております。)

学会発表

- 2017年8月19日(土)・20日(日) 全国英語教育学会第43回島根研究大会
検証方法, 研究成果についてパネルとともに発表済み
- 2017年8月19日(土)・20日(日) JART 日本テスト学会第15回大会
検証方法, 研究成果について発表済み
- 2018年3月24日(土)～3月27日(火) American Association for Applied Linguistics in Chicago
検証方法, 研究成果について発表予定
- 2018年7月2日(月)～7月6日(金) Language Testing Research Colloquium in Auckland
検証方法, 研究成果について発表予定

論文発表

- 2017年9月 CEES(一般財団法人 進学基準研究機構)との共同研究として論文『GTEC スコアとCEFR レベル関連付け調査報告』を公表
<CEESホームページ掲載>
<http://cees.or.jp/act/report.html>
『GTEC スコアとCEFR レベル関連付け調査報告』を公表済み
『GTEC スコアとCEFR A1レベル関連付け調査報告』を公表済み

CEFR対応関係の継続検証体制

GTECスコアとCEFRレベルの対応関係に関する検証の再検証, 継続検証が必要な場合には, パネルは2017年1月の検証と同じCEFRおよび英語の言語教育, 教育測定に精通した研究者6名での検証・研究を推進いたします。

